

校 園 長 室 か ら



学 校 教 育 目 標

共 に 学 び 共 に 伸 び る 子 ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令 和 8 年 4 月 16 日 第 101 号

夢

昨日のテレビ集会で、始業式に伝えた「元気をあげるあいさつ」「トイレのスリッパの整頓」「目を見て話を聞く」の三点を確認した後、私の夢を語りました。それは、「朝陽小学校のすべての人が正しく鉛筆を持つこと」。

新聞を読んでいますと、小説の懸賞で半分以上の作品が AI(人工知能)で書かれているとか。選考委員も人が書いたものより AI が書いたものを優秀賞に選び、選定後に AI 作品と知り、愕然とする話が載っていました。

自動車が自動運転に向けて進化していることは、何度かお話してきました。自動車の運転手がいらなくなると、自動車の教習所はいらなくなり、自家用車と呼ばれる個人で自動車を所有する必要もなく、乗りたいときにアプリなんかで「何時にここに来て」と、入力すれば、ぴったり指定した時間に車がやってきて、行きたいところへ連れて行ってくれる、そんな未来もそう遠くないようです。

今の小学生が大人になったころ、今よりもさらに時代は変わっていると思います。

そんな激変する世界の中で、ICT を中心に授業を展開することが叫ばれていますが、教育の原点は、「読むこと」と「書くこと」。特に書くことに関しては、鉛筆で紙に字を書くことがすべての教育活動の原点だと思えます。

タブレットが無かったって、電気が通らなくなったって、紙と鉛筆はどこでもどんな条件でも活用できます。

本年度は、学校の研究テーマを「書くこと」として、そのために正しく鉛筆を持つ指導を進めていきます。「鉛筆を持つこと」「紙に字を書くこと」が貴重な体験にならないように取り組んでいきます。